

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第131号

「田んぼ日記 part 1」

2024年6月24日

6月に入ってから、天空の里周辺では、ほとんどの田んぼで田植えが終わったようです。田んぼの仕事はもっと前から始まっていますが、現在から収穫までの様子をこっそり観察していこうと思います。



6月19日 稲の成長が楽しみ

5～6月は田植えの時期ですが、地域によって差があるようです。事前にビニールハウスで育てていた苗を田植え機で植えていきます。田植え後の田んぼの中を覗いてみると、たくさんの生きものたちが忙しそうに過ごしています。この時期だけ観察できるのは、ホウネンエビとカブトエビです。どちらも発見したのですが、田んぼの土をかき回すカブトエビによって水中が濁っており、あまりいい写真は撮れませんでした。ただ、濁っていること自体は悪いことではなく、泥を掘り起こすことで稲に酸素を送り、水が濁ることで雑草の光合成を防ぐ効果も期待できるそうです。



一応ホウネンエビです…



別の日に撮影したカブトエビ

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：佐藤